あんさんぶる こころのにじ

第１７号

令和８年１０月発行

発行者：社会福祉法人東京援護協会
練馬区立中村橋福祉ケアセンター
〒176-0021
東京都練馬区貫井１－９－１
TEL 03-6904-0144（生活介護事業）
03-6904-0145（中途障害者通所事業）
FAX 03-6904-0140（共通）



ご挨拶

皆様、こんにちは。日頃より練馬区立中村橋福祉ケアセンターの運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。朝夕の冷え込みが増し、街路樹も美しい秋色に染まる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

当センターでは、利用者の皆さんが住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」を継続できるよう、生活介護、自立訓練、地域活動支援センターをはじめとする様々な支援に取り組んでおります。活動を楽しみ、日々のリハビリテーションや生活習慣の維持・向上を目指したプログラムを通じ、ご自身のペースでやりたいことや目標に向かって前向きに励まれる姿に、私たち職員も日々たくさんの活力と感動をいただいております。また、季節を感じていただける行事や地域との交流も大切に重ねてまいりました。地域の皆様やボランティアの方々のあたたかい支えがあってこその活動であり、深く感謝申し上げます。職員一同、安全面や体調管理に万全を期し、お一人おひとりの「やってみたい」「できるようになりたい」という思いに寄り添いながら、より充実したサービスを提供してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

施設長　今井　克

「失語症サロンこころ」スタート！

失語症の方々の意思疎通を支援する新たな事業として、「失語症サロンこころ」が始まりました。本事業は支援者と一対一でゆっくりじっくり会話ができる場所です。会話を楽しむだけでなく、日常生活の中で感じている困りごとや不安なども気軽にご相談いただけます。

初めての開催となった９月16日は４名の方にご参加いただきました。今回は「趣味」「仕事」「スポーツ」など、それぞれ「好きな話題」を中心に和やかな雰囲気でたくさんの笑顔があふれました。当サロンでは、言語聴覚士や失語症者向け意思疎通支援者が「伝えたい」「聞きたい」思いを丁寧にサポートします。

一人ひとりの気持ちに寄り添った会話支援で、皆さんが笑顔でつながる場所を、これからも目指してまいります。



中途障害者支援事業

自立訓練(機能訓練・生活訓練)・地域活動支援センター

自立訓練の言語室より

自立訓練の言語聴覚療法では、主に脳血管障害によって生じた失語症や高次脳機能障害がある方を対象に、日常生活や社会生活に欠かせないコミュニケーション能力や、認知機能・注意機能の向上を目指した評価や訓練を行います。また、対話を重ねる中でご自身の状態や障害の影響に気づき、周囲にご自身の状況を正しく伝えられるようサポートします。

復職を希望される方には、職場で必要となるコミュニケーションや具体的な仕事内容を想定し、その対応方法などを一緒に検討しています。さらに、少人数で行うグループワークなどの実践的な練習も取り入れ、社会的なコミュニケーションスキルを磨き、他者の意見に触れる機会を得られるようにしています。





地域活動支援センター

地域活動支援センターでは、主に高次脳機能障害のある方を対象に個別活動をはじめ、クッキングや外出活動、軽運動や文化的活動など様々なプログラムを行っています。日中の活動を通して生活リズムを整え、交流による楽しみや気分転換を得ながら、活動の幅や興味の拡大につながる場となっています。現在は、創作活動で12月開催の「ふれあい作品展」に向けて、全員で力を合わせて一つの作品を仕上げており、楽しみながら交流を深める機会にもなっています。









生活介護事業



夏祭り

7月２２日から２４日にかけて、夏祭りを開催しました。期間中は、盆踊り（東京音頭、マツケンサンバⅡ）をはじめ、射的やヨーヨー釣りなど、夏祭りならではの楽しい催しを行いました。最終日には『ヘレン中村橋』の園児の皆さんを招待し、賑やかな時間を一緒に過ごすことが出来ました。利用者の皆さんも笑顔で参加され、会場は大いに盛り上がりました。園児の皆さんとの交流も深まり、楽しい夏の思い出となる３日間でした。

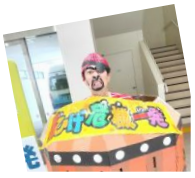






田柄福祉園　交流会

９月７日、田柄福祉園をお迎えし、交流会を開催しました。　自己紹介で温かい拍手が沸き起こった後、今年のレクリエーションでイチオシの「PK対決」を実施。チームに分かれ、ゴールキーパーの立ち位置を決め、シュートで盛り上がりました。「リアル黒ひげ危機一髪！」では、大きなお手製の樽に海賊メイクの職員が鎮座し、剣を刺すと「ウーンまだまだ修行が足りん！」と言われたり、イケメンアイドル顔の海賊が飛び出してきたりとハチャメチャな展開です。手作りメッセージカードの贈呈後、「ビリーブ」「ともだちはいいもんだ」の合唱で盛り上がりは最高潮。最後は全員集合で記念撮影を行いました。



会が終わった後も自然と笑顔があふれ、楽しく満たされたよき時間だったとしみじみ振り返り、また皆で笑い合いました。





生産活動

生活介護事業では今年度から生産活動を開始し、みんなで自主生産品を製作しています。布を切ったり、アイロンをかけたり、ビーズの色を選んだりと、一人ずつに合った手法で一生懸命取り組んでいます。

11月の中村橋マルシェでは、良い香りのするサシェ、アイロンビーズを表紙にした個性的なメモ帳、ポニービーズで作った可愛いクリスマスオーナメントなどを販売します。皆さま是非、お立ち寄りください！





中村橋マルシェのお知らせ!

このたび、2026年11月18日(水)～20日(金)10:30～14:00 (20日は 10:30～12:00)
中村橋区民センター１階ホールにて中村橋マルシェを開催します。利用者の皆さんが社会参加の一環として接客・販売を行います。生活介護の利用者は今年度初めて、一から作り上げた自主生産品も販売します。この他、地域活動支援センター利用者の製品や当法人施設の商品が集まり、一度に購入できる貴重な機会です。また、活動風景や訓練内容のスライドショー紹介もあり、事業を見て感じていただけると思います。ぜひお越しください。






メンタルヘルス研修

昨年度のストレスチェックの結果を受け、外部講師によるメンタルヘルス研修を実施しました。「チームで支えるレジリエンス」をテーマに、疲弊を個人・チーム・組織の３レベルで見立て、境界線の維持や援助要請に応える環境づくりを学びました。エコマップで支えや負担を可視化し、ひとりで抱え込まず支え合える職場を目指します。




ＩＣＴ講習会

８月１５日と１６日に肢体不自由のある子どものWindowsとiPadOSの講習会に参加しました。ＩＣＴを通じて他の人との関りや豊かなコミュニケーションに繋がる可能性・視線入力やスイッチ操作などの環境次第で重症心身障害児者の方の可能性が大きく広がることを感じました。医師から身体を動かすことや話すことが出来ないことから理解することも難しいと言われた方が、視線入力を試したところ意思のある反応や目的を持ったような反応が見られたという事例もみて、テクノロジーや環境、支援次第でその人の世界を広げることもできると実感しました。



編集後記

夏の終わりから長雨に見舞われましたが、ようやく秋らしい気候となってまいりました。
広報誌「あんさんぶる」のロゴマークは、６年前『いつかは晴れて虹がかかる。みなさまに心の虹を届けたい』という想いで誕生しました。これからも心に届く広報誌を目指しますので、引き続きよろしくお願いいたします。